

産業振興等奨励金見直し 豪雨災害の事前対策と復旧支援



総務産業常任委員
議会運営委員

立山比呂志

産業振興等奨励金

産業振興等奨励金について基準を見直す考えはあるのか。

(町長) 産業振興等奨励金は、平成12年4月1日に施行している。

産業振興奨励金とは、土地を除く固定資産税額の50%で5,000万円を上限に払う。

用地取得奨励金とは、事業所を設置する目的で取得した用地の取得価格の10%で5,000万円を上限に払う。

設備投資奨励金とは、事業所の延べ床面積1平米につき、5,000円を乗じて得た額から産業振興奨励金の額を差し引いた額で1億円を上限に払う。

雇用促進奨励金とは、町内に住所を有する方を雇用された場合、1人当たり30万円支払う。の4種類がある。

企業誘致は、企業に対する優遇措置がなければ交渉の場に就くことも出来ない。町としては、経費が掛かるが先のメリットは計り知れないものがあるため、産業振興奨励金の果たす役割は大きい。

バンブーグループに産業振興等奨励金を出した件。本格稼働ではないという事で一時奨励金を支払っていなかったが、稼働できそうだと町と議会で視察に行き、賛成多数で出した経緯であったが、今後このような企業事例があった場合は、議会への相談はあるのか。

(町長) 本来なら、産業振興等基金から支払のために予算化し、議決を頂く。今回のようなやり方は今まで一度もない。今後はそういったことのないようにしていきたい。



洪水ハザードマップ

今年は5月15日に梅雨入りし20日も早くなった。豪雨対策の中の町の洪水ハザードマップはどこまで進んでいるのか。

(町長) 校区ごとに一枚もののハザードマップの作成を行っている。6月15日の区長便で配布予定である。来年2月末には、B4判・36ページの冊子とウェブ版ができる予定である。



豪雨災害から荒廃地

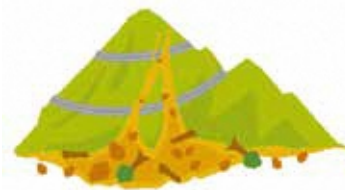
昨年の豪雨災害の復旧進捗状況はどこまで進んでいるか。

(町長) 公共災害については、河川18ヶ所、道路22ヶ所、農地農業用施設223ヶ所は、順次発注

しており完了箇所も増えている所である。小災害は当初299件の申請があったが、18件の取り下げがあった。

取り下げのあった中の例として、坂下・中原地区である状況は、休耕田に行くための道路が災害にあっているが、負担金額が多額ため取り下げられている。その休耕田を歩いてみるとイノシシの住処になっている。別の山の中に足を歩みいれてみると、崖崩れ、土砂崩れの跡が見かけられる。このような場所では、災害申請も出ていないと思われる。そういった所はますます有害鳥獣の住処になっているのでなんとか出来ないか。

(経済課長) 山林の調査等に入ると崩壊箇所がある。災害報告も出ていない森林荒廃地の所有者も不明、行けない道も多々あると思う。今後、建設課と協議をしながら解決に向けていきたい。





地方創世調査特別委員長
文教厚生常任副委員長
広報常任委員

北原浩一郎

町内教職員の業務改善は？

(教育長) 昨年12月から本年3月までの月45時間超過勤務者数は、小学校では3人から10人、中学校は4人から7人で推移。その中で月80時間超過勤務者数は、12月に小学校で1人、3月に小学校で2人、中学校で2人

超過勤務者数は減っているが、熊本県教職員組合が2020年度に取った職場アンケートには虚偽の報告が現実にあることが赤裸々に書かれている。当町では、本当に正直な数字が出されているか？

(教育長) 虚偽の報告とかあってはならないこと。自信を持って答えることが出来る。

ないと言われるが、現場では正確な時間把握が出来ていないのが現状ではないのか。80時間超えても指導はしないということだが、なぜ虚偽報告をしてしまうのか。公務災害では勤務時間の把握が大切。働いた時間を正確に報告できる環境が必要。管理職には正確な勤務時間把握を指導していただきたい。

町内教職員の業務改善状況は？ 新庁舎周辺の整備は？

総括安全衛生委員会は？

各学校の衛生委員会は機能しているか。

(教育長) 勤務時間の管理も含め、定期的な開催をお願いしている。校長会や教頭会の中では、学校ごとに毎月の状況が分かる資料を配布している。

休職の先生が続いている。南関町に赴任された先生を守り健全な状態で子供たちに接してもらうためには、各学校の現状や声を拾う総括安全衛生委員会がこれから必要では？

(教育長) 最終的には、総括安全衛生委員会が一番ベターと思うが、現状からいって、去年今年とコロナ関係の業務対応があることや先生方の加配措置の部分で、業務改善という意識は広がってきていると思うので、総括安全衛生委員会はまだ少し先の取組の方向性になってくる。

時間で縛るのではなくて、業務内容削減することを第一に進めてもらいたい。

新庁舎周辺の周辺道路

(町長) 町道田町・堀池園線の一部区間は、有明消防南関分署の令和3年10月開署に合わせ、先行して舗装工事を進める。町道迎町・旭町線は、竜瀬橋から第一小学校までの一部区間において、改良工事に取り組める目途が立ち計画的に進めていく。

防災広場の利用法

(町長) 災害時はかまどとして炊き出しができるかまどベンチを計12基設置し、マンホールトイレを10基、ソーラー照明を7基、仮テントの設置スペースとして、芝生広場の整備。平時は、子どもから高齢者まで誰もが利用できる憩いの場やイベント広場として活用できる。

皆さんが楽しみにしている芝生広場。憩いの場となるのはもちろん、親子でまちなかキャンプもできるような自由度の高い広場を利用を要望する。



田町商店街の歩道整備

(町長) 歩道整備は考えてない

住民の声として、特に高齢者の方や足を不自由にされている方から安心して歩ける歩道の要望が多い。グリーンゾーンを幅広く作って、車道を狭くして、一方通行化も一つの案。いろいろ知恵を絞って考えてもらいたい。うから館の駐車場に来町者にもわかるように町営の無料駐車場表示を要望する。

※他に町営学習塾について質問した

バンブーグループの資産譲渡・事業譲渡での地元説明会 ワクチン接種

バンブーマテリアルの資産譲渡、バンブーフロンティア・バンブーエナジーの事業譲渡

(町長) 譲渡の経過について事業者へ確認したところ、バンブーマテリアルは4月中旬に双葉運輸に資産譲渡は完了している。

バンブーフロンティア及びバンブーエナジーについては、モリショウグループへの事業譲渡の条件となる中間処理業許可取得に向け対象地区となる米田区、大場区、胡麻草区、中原区、鬼王区への地元説明会がされた。

説明に対する意見については、地元関係者より、設置者を通じ県知事に提出することになっている。地元からは、雨水等の排水処理対策や騒音・振動等の法令遵守、また、苦情等に対する速やかな対応などの意見が出されたとの報告を受けている。



竹の買い取り 地方創生交付金

地方創生交付金が今まで109万5730円支出されており、今後についてもそのまま続けていくのか。

(経済課長) 竹の買い取りについては、バンブーグループ以外の使用用途、舗装材であったり、堆肥だったり、

今模索をしている状態である。今年度も、地方創生のほうで、買取りの補助をする。



ワクチン接種

(町長) ワクチン接種者の副反応として、厚生労働省の報告では、接種後すぐに現れる可能性の副反応として、アナフィラキシー反応がある。これについては、医療機関や接種会場では医療品の準備がされている。また、立ちくらみがしたり、血の気が低く血管迷走神経反射が報告されており、これについては、横になって休めば次第に回復する。

そのほか、数日以内に現れる可能性の症状としては、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、吐き気、嘔吐、下痢、発熱などが報告されている。また、疲労や関節痛、発熱は、1回目より2回目の方が、頻度が高くなる症状もある。町での接種状況を注視していきたい。

個別接種と集団接種について尋ねる。

(福祉課長) 個別接種は、町内の田尻医院、田辺クリニック、さかき診療所と大牟田の石崎医院。

(町長) 集団接種は保健センターで水曜日については2レーン、土曜日



総務産業常任副委員長
監査委員

打越潤一

については、郡市医師会から、医師2名看護師4名の協力体制が8月末まで出来ているので、全て、3レーンで、土曜日の医師については、郡市医師会の協力であるので、同じ先生でなくて、交代で来られる。

電話がなかなか繋がらないと聞かすが、何人で対応されるのか。

(福祉課長) 5月14日の第1回目の予約受付については、コールセンターは2回線で運営をしていたが、6月1日より4回線へ増やし対応している。



インターネットでみたが、熊本県、近隣市町でミスが、冷蔵庫の締め忘れ、2人でしなければいけない。複数で確認しながらやっているのか、どんな指示をしているか。

(福祉課長) 町では、冷凍庫の設定温度が一定に保てるように、細心の注意を払い、破棄が起きないように取り扱っている。



広報常任副委員長
総務産業常任委員

西田 恵介

高齢者の免許返納

(町長) 平成28年度が31人、平成29年度は29人、平成30年度が32人、令和元年度が33人、令和2年度が32人、今年度は5月末までに20人で、平成28年度からの合計が177人となっている。買物難民の対策について、要介護対象者の方については、買物サービスを行っている。さらに社会福祉協議会では、年齢に関係なく、もやい生活支援サービスとして、1回300円で、買物サービス等を行っている。また、よりそい買物サポートも行っている。

(まちづくり課長) 乗り合いタクシーの利用登録者数は、現在1494名となっている。平成30年度からは、年間1万1000人を超える利用があっているが、昨年からコロナ禍の中で利用者数は多少減少をしている。運転免許自主返納者への6か月間の無料乗車



高齢化対策における高齢者の免許返納の状況と買物難民の対策、乗り合いタクシーの利用状況

券の発行件数については、113件となっている。令和2年度の乗降場所で一番多いのは、53.6%がビックオークで53.6%。買物の手段として多く利用されている。

高齢化が進んでいるが返納者数は、ほぼ横ばいの状況。増えてない理由は何か。

(総務課長) 乗り合いタクシー等の交通手段があるが、自由に動くのに車以外に手段がないことが原因ではないかと思う。



移動販売車

移動手段がないという事は、買物等に行けないからだと思うが、食品などの移動販売については町から依頼しているのか。

(福祉課長) 地区や、民生委員さんのほうから来てほしいということで依頼をしている。

地域から要望で来てもらっているということは、困っている人がいるのが現状。町から要望等をしているのか。

(まちづくり課長) 検討はしている。国からの車両の導入の補助というのもあるが、維持管理などあ

る程度の費用も必要になるので事業者が踏み込めないのが現状である。

移動販売について、今後町として計画はあるか。

(町長) まだ、会議等は設けていないが、商工会や社会福祉協議会等と総合的な計画を立てなければならぬと考えている。また、南関版コンパクトシティの中で買物難民等についても、検討していく必要があると思っている。住民の生活は、これから南関版コンパクトシティで総括的なものをまとめていくので、十分町民の皆さんの思いを反映させて計画を作成していきたいと思う。

今年は庁舎も新しくなりコンパクトシティ構想として、町が動き出すには区切りよく、いい形ができると思う。このため、地域や各組織、役場内の各課の連携を含めてまちづくりをしてかなければならない。このコンパクトシティ構想は高齢者対策をはじめ、町のたくさんの課題を解消するものにしなければならないと思う。町民や職員などの意見やアイデアを生かし、安心して暮らせる南関町にしなければならない。



杉村「バンブーフロンティア事業について町の責任は？」 町長「今回の件に関してだけ特に力添えを行ったことはない！」



総務産業常任委員
地方創生調査特別副委員長
有明広域行政事務組合議員

杉村博明

力の入れ方に違和感

バンブーフロンティア事業に関しては、町長自ら近隣市町へ事業の説明、協力を依頼して回り、これまでの誘致企業と比べると特段の力の入れようであった。何か違和感を感じたが、町長はどのように思われているのかを問う。

(町長) バンブーフロンティア事業については、高齢化や後継者不足による竹林の荒廃が南関町のみならず近隣市町の課題となっており、この事業は竹を伐採し枝葉や幹、表皮など余すことなく活用することで、新たな産業を生み出すこれまでにない革新的事業提案で、町としてもスギやヒノキなどの育成を妨げ、景観を損ねる厄介者であり、手入れされていない竹林は災害を誘発する可能性も高いことから、バンブーフロンティア事業には大きな期待を寄せていた。

また、原材料である竹は当初の計画では南関町だけでは供給が不足する計画であったため、荒廃竹林解消に向けた竹林整備の観点から近隣市町へも出向き説明を行った。バンブーフロンティア事業はこれまでの企業誘致、企業支援活動においても町の立場で出来る限りの支援や交渉等は積極的に行ってきた。今回の件に関してだけ特に力添えを行ったことはない。



産業振興等奨励金

産業振興等奨励金をバンブーフロンティア事業に総額で幾ら補助金を支払ったか、また支出の時期は早々ではなかったかを尋ねる。

(町長) 企業への奨励金支出については、議会の十分な納得が得られなかったため、議会全員協議会の場に企業から現状報告が行われた。その後議会全員協議会でバンブーの工場視察が行われ説明を受け製造過程の案内をされた。奨励金支出について多数決による採決が行われ、全会一致ではなかったが、賛成多数で奨励金を支出しており、当然な時期に行った。



補助金、奨励金、減免等の総額と返還

減免を行った総額と産業振興等奨励金の額また、県その他機関からの補助金額と町への奨励金返還の町長の考えを聞く。

(町長) 企業としても鋭意努力されており、奨励金の返還は考えていない。

事業譲渡がスムーズに進みバンブー関連工場が空き工場になることなく、税収の確保と地域の環境が守られることが大切と考えている。

(まちづくり課長) 産業振興等奨励

金支出額は、バンブーフロンティア株式会社に総額831万円、バンブーマテリアル株式会社に総額4570万5000円、総務省より地域経済循環創造事業補助金5000万円、熊本県よりバンブーマテリアル株式会社に企業立地促進補助金9000万円、内閣府や経済産業省の補助金総額1億円ほどで、いずれも返還の義務はないと報告を受けている。

(税務住民課長) バンブーフロンティア課税額が981万1100円そのうち減免総額931万9800円でバンブーマテリアル株式会社が課税額4488万6300円のうち減免額4374万8300円で令和3年度からは1687万1300円が通常課税となる。

この事業に関しては、到底納得がいかない。町の税金も半端ない金額が投入されており、町の責任はこのままあやふやには終われない。まだまだ、追及が必要である。これでいいのか南関町は！



生の声を聴く

保育園・幼稚園・ 認定こども園の保護者

& 広報委員



議員

子育て生活で大変だと思うのはどんな時?逆によかったなあ、楽し〜と思うのはどんな時?小学校年代まで含んだ子育てについて。

- コロナ禍における園生活は、色んなイベント等が縮小・中止になっている。そんな中、いろんな対策規制はしたうえで運動会が、子どもたちだけの開催となり、寂しい思いをさせたり、保護者としても寂しかった。でも開催ができたことは、良かった。
- 今の子どもたちは、外で遊ぶ環境が少ない。危ないからと規制ばかりして、家に閉じ込めてしまいゲームばかりの時間を過ごしている。その点、通っている園は庭も広いしアスレチックもあって、伸び伸びと身体を動かしているのは嬉しい。イベントをすることで親と子どもとの絆が広がっていく。
- 子どもは自然とふれあうのが一番いいと思う
- 行事が多いのが魅力で園を決めました。しかしコロナ禍で通常通りに行えない状況ではありますが、できる範囲で、子どもたちが楽しめる事をしていただいている。ただ保護者の活動ができず、コミュニケーションがとりづらくなり、役員の引き継ぎが課題となっている。
- どの園に入園させようかと考えたとき、少人数の園を希望した。結果、見守ってくださっている先生方の姿が温かくて、子どもは園生活をすごく楽しんでいる。
- 小さい園から移ってきたので不安もあったが、先生方がすごく見守ってくださるので、園生活には満足している。
- 病児保育がないので凄く大変な思いをした。荒尾の病

南関こどもの丘保育園



院は受付が午前8時からで出勤時間に間に合わない。定員を超えると預かってもらえなくて、両親共働している家庭はきつい。南関町にあったら、もっと子育てしやすい。子どもが病気したら仕事を休まなければならないので、ストレスが大きくなっている。

- インフルエンザが広がって10日くらい子どもが休んだときに、職場をどうしようと思った。このままでは仕事も出来ない、仕事も選ばないといけないしと考えるようになった。
- 小学校の話になるが、今では何でもダメダメが多すぎて、私たちが当たり前にしてきたことがダメ、禁止。親が見ていて「悪いこと」と思わないようなことでも学校から注意を受けることがある。子どもたちに対しても教え方がとても難しい。ゲームは家庭でルールを作って守りながらすれば良いと思ってさせている。何かあると直ぐにゲームのせいにされるところがあるので、子どもたちもかわいそうだと思う。
- 子どもが川で遊んだら注意を受けたこともあり、何でもダメダメの環境で好奇心が悪い方向に行くのが心配だなと思っている。

南関ひまわり幼稚園



議員

子育てで大切にしていることは?これからの時代に大切にしていかなければと思うことは?

- 子どもの話を聞くとときに同じ目線にすることを心がけている。
- 挨拶をしっかりできる子になってほしい。
- 自然の中で育てたいのが南関に住む理由。家の周りが田んぼで、風が気持ちいいねとか、葉っぱが揺れてるねとか、自然を見てきれいだなとか、気持ちいいとか、思う時間をいっぱい持ってほしいと思って、一緒に野菜を育てたりしている。そんなことを大事にしている。ずっと先、7代先のことまで考えてきれいなままの南関町を残していきたい。
- フラットな精神状態で接したいと思っているが、ストレスを抱えてしまうとそういうことが出来なくなってしまう自分を反省する日々。
- 言葉遣いとかで子どもの成長を感じている。
- 「ありがとう」「ごめんなさい」が言えるように心がけている。一緒に笑って泣いて怒って、反抗期もしっかりやってもらって、今しか出来ないことの楽しさをその時間を大切にしている。



そうした子育て方針に対して町の子育て支援の満足度は？ 小学校時代まで含めて、行政へ要望したいことは？

〈満足〉

- 町の子育て支援策は他の自治体より良いのでは有り難いし、友人にも南関町においでよって勧めている。
- 医療費無料は子どもが病気になっても慌てなくて良い。

〈病児・病後児保育施設〉

- 子どもが熱を出す度に、大牟田、玉名、荒尾の施設に預けに行っていた。距離や時間の制約の中で、南関町に病児保育施設があったら、負担がかからなくなる。

〈外で遊ぶ場所・オンラインゲーム対策〉

- 外で遊ぶ場所がない。オンラインゲームの中が子どもたちの居場所になってしまっているの、公園などを作ってほしい。
- 小学校1年2年は下校が早い。保育園の時より早いし、外出禁止となると友達と遊ぶことが出来なくなっている。結局オンラインゲームとなる。何か居場所づくりがないと変わらない。
- 早く帰宅しても3時までは家にいないといけならしく、親の間で話に出てくる。遊ぶ場所がない。ボールを蹴って遊んだり、バドミントンできたり、追いかけてこしたり、思いっきり遊びに行ける環境を作って頂きたい。

〈預かり場所〉

- 急なことが起こったときに、サテライト的な預かり場所が出来たらいいと思う。
- 祝日も仕事をしている保護者が多いと思うので、祝日も子どもを預かってくれるところがあれば助かる。

〈放課後児童クラブ〉

- 学童保育には潜在待機児童がおられると思う。保護者の声としては、地元の小学校の中で学童保育がほしいが多い。
- 学童保育の申込みシステムの改善が必要と思う。

文化幼稚園



〈給食費無料化〉

- 小中学校の給食費は子どもが多いところは大変かなと感じていて、荒尾市のように無料化を期待している。

〈負担〉

- 子どもの見守りで朝の旗持ち、夕方のパトロールは必要でなければならぬけれども、そのために早退できる職場ならいいけど、無理だったりその時間立って



※左から

○文化幼稚園

坂根 美幸さん(長山) 北原美稚子さん(関東)

○南関こどもの丘保育園

島田 修伍さん(下坂下) 池田 信也さん(下坂下)
田中 亜矢さん(関外目)

○南関ひまわり幼稚園

片山 知紗さん(関町) 三宅 理恵さん(関町)

くださいと言われても、融通が聞かない職場の方にはかなりの負担となっている。

地域の方の手助けみたいなものがあればいいなと感じている。それに街灯が少ない。

- 小学校は保護者がやるのが結構多い。宿題の丸付け、本読みを聞くことなど。両親共働きの家庭では、なかなか厳しいんじゃないかと思っている。
- 園では「自分のことは自分で出来るようになりましょう」「いろんなことに挑戦してみよう。それを保護者の方は見守ってあげてください」ということを大切にされているのですが、小学校になったら、親が見てあげないといけないこと、してあげないといけないことが多いかなと感じている。

「生の声を聴く」を終えて・・・

子育て世代の大変さは、昔と違って「共稼ぎ」「核家族」で負担が大きく増えている。就業先の子育て対応も良くなってきているが、まだ気を使いながらのレベルでストレスがある。行政側もいろんな施策を打っているが、当事者にとってはまだ満足レベルではないのが、生の声としても聴けた。



すぐにできるものだけでなく、難度の高いが重要度の高い課題にも、取り組み始めないと、解決の道は見えてこない。

行政だけでなく、議員としても政策立案し解決に取り組んでいきたい。

広報常任委員会

南関中3年 さる わたり とう こ 猿渡董子さん



南関町に住む18才未満の人たちに、町の未来を語ってもらうコーナーです。

私が考える、南関町の未来

私は、高校を卒業した後のことで悩んでいます。自分が将来何になりたいかが決まっていないからです。

けれど、思っていることがあります。大学へ進学したいということです。少しでも将来に役立つ資格や知識を得ておきたいからです。私は大学へ南関町から通いたいと思っています。旅行で何度か東京へ行ったことがあります。東京と南関町を比べると、東京はいろいろなお店がたくさんあります。人がとても多くて、あちこちからとても美味しそうな匂いがしていました。私は東京のそんなところがいいなと思いました。南関町は、東京と比べたらお店は少く人も少なくて虫がたくさんいるけど、人は少ないほうが私は自分のペースで歩いてゆっくり時間を過ごせるし、虫がおおいはいやだけどそれは環境がいいからだと思いました。空気が汚く、人が多いと虫は住みにくいと私は思います。南関町の空気は木などのにおいがしてとても気持ちがいいです。こんな素晴らしい自然豊かな町を離れたいと思いません。

将来、南関町に恩返しするとしたら何ができるだろうと考えました。でも、私は将来自分が何になりたいのかさえ、決まっていません。だから、今の自分にできることを考えました。すぐにでもできることは、ゴミを出す量を減らすことだと思いました。たまに川などにペットボトルとかのゴミが落ちています。いくら川の水が澄んでいてもゴミが落ちてると汚いと思います。ゴミの量を減らせば環境が良くなり、きれいな南関町になると思います。

議会傍聴しませんか

6月定例議会の傍聴は、新型コロナウイルス感染症対策のため、報道関係者のみの制限をしました。

8日：2人、9日：2人、10日：2人

定例議会は、年に4回・・・3月、6月、9月、12月に開催。 ●通常はどなたでも傍聴できます。(定員 30人)

議会日誌

- 4月
 - ・ 4月12日(月) 文教厚生常任委員会
総務産業常任委員会
 - ・ 4月15日(木) 全員協議会
広報常任委員会
 - ・ 4月30日(金) 広報常任委員会
- 5月
 - ・ 5月13日(木) 総務産業常任委員会
 - ・ 5月18日(火) 文教厚生常任委員会
 - ・ 5月21日(金) 全員協議会
 - ・ 5月27日(金) 議会運営委員会
- 6月
 - ・ 6月8日(月) 6月定例議会
広報常任委員会
 - ・ 6月9日(火) 6月定例議会
全員協議会
総務産業常任委員会
文教厚生常任委員会
 - ・ 6月10日(水) 6月定例議会
 - ・ 6月23日(水) 広報常任委員会

ティークレイク



オリンピックの関心事

首都圏ではコロナ第5波が拡がる中、新国立競技場建設白紙問題から始まり開幕直前まで何かと騒動続きの東京オリンピックが無観客で始まった。柔道阿部兄妹やスケートボード堀米選手の金など、嬉しい結果が続いている。この原稿を書いている最中にも卓球混合ダブルス水谷・伊藤ペアの金メダル!の一報が入ってきた。日本の金メダル目標は30個。今号が届くときに、目標達成かそれ以上の成績になっていることを期待しよう。

実はそれ以上に、私の関心事はその組織運営にある。この巨大なイベントを作り上げる組織に興味津々。五輪組織委員会を調べると実に多岐に渡り、人の数も膨大。その組織の一つ一つが末端までの働きを網羅し協働し汗を流して準備していくのだが、コロナ禍に振り回された事務サイドの苦労は計り知れない。ああ、どの組織でも良いから参加してみたかったなあ。そして開幕迫るパラリンピックで浦田理恵さんの健闘を祈る!! (北原)

□ 発行責任者

議長 橋永 芳政

□ 編集(広報常任委員会)

委員長 中村 正雄
 委員 北原 浩一郎

副委員長 西田 恵介
 委員 鶴地 仁